

公益財団法人茨城県開発公社 令和5年度事業報告

令和5年度の経営状況については、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、経済活動が活発化する一方、物価高騰の影響により厳しい状況が続いてきたが、各事業においてこうした環境変化にも的確に対応しながら、安定的かつ継続的な経営に努めた。

事業全体の当期一般正味財産増減額は、土地開発事業において土地の引渡しを行ったこと、宿泊施設事業において利用料金を見直すとともに、利用者数が回復したこと、また、ビル管理事業において経費節減に努めたこと等から、1,132百万円余の増となった。

【正味財産増減表抜粋】

(単位：千円)

			収益計	費用計	他会計振替	当期一般 正味財産増減額	正味財産 期末残高
R5決算			19,748,901	18,616,073	－	1,132,828	11,492,808
公益目的事業	土地開発事業		13,565,016	12,596,376	－	968,640	6,873,446
	茨城空港旅客ターミナルビル事業		369,576	389,101	160,109	140,585	77,470
	園地整備・管理事業		18,210	127,112	－	△ 108,902	△ 44,092
	水道事業		1,397,546	1,397,546	－	△ 0	124,193
収益事業	宿泊施設・日帰り温泉施設事業		1,828,718	1,810,738	△ 16,552	1,429	559,615
	ビル管理事業		391,452	298,797	△ 42,823	49,832	3,901,694
	立地促進事業		2,174,652	1,956,529	△ 100,734	117,389	223,125
法人会計			3,731	39,875	－	△ 36,144	△ 222,643
内部取引等消去			－	－	－	－	－
R4決算			11,044,565	10,972,339	－	72,226	10,372,044
R3決算			17,028,922	15,978,547	－	1,050,376	10,311,245

- ・収益計＝経常収入＋経常外収入。
 - ・費用計＝経常費用＋経常外費用＋法人税・住民税等。
 - ・他会計振替＝収益事業の利益のうち概ね1/2を公益目的事業に振り替えている。
 - ・数値は、表示単位未満の数値を四捨五入したので、計と内訳が一致しない場合がある。（以下同じ）
- ※正味財産期末残高については、指定正味財産期末残高を含む。

○事業別実績概要

【公益目的事業】

1 土地開発事業

【プロパー事業 処分等実績】

- ・ 稲敷工業団地において、16.4ha区画の造成工事が完了し、12月25日に引渡しを行った。
引き渡しに伴い、稲敷工業団地の残区画は1区画(3.9ha)となった。
- ・ 南中郷工業団地において、3.6ha区画を事業用定期借地として賃貸し、売上を計上した。
- ・ 茨城工業団地において、5.6ha区画の割賦及びファイナンスリースの売上を計上した。

契約締結日	企業名等	面積	団地名	処分形態
R3. 3. 22	ヒロセホールディングス㈱	16.4ha	稲敷	新規
令和5年度計		16.4ha		

※プロパー団地については、全面積立地済み。稲敷1区画（3.9ha）については未取得。

【公共事業 工事等実績】

- ・ 茨城県の所有する8団地について、造成工事の施工及び企業誘致に関する協力支援までの一連の業務を受託し、茨城中央工業団地（Ⅰ期・Ⅱ期・笠間地区）において道路改良及び上下水整備工事を実施したほか、茨城空港テクノパークにおいては、一部（約5ha）造成工事が完了し県に引渡しを行った。また、各公共工業団地において、除草等の管理を実施した。（受託元：茨城県）
- ・ 令和3年度から受託をしていた「つくばみらい福岡地区土地造成事業」について、土地造成工事が完了し県に引渡しを行った。（受託元：茨城県企業局）
- ・ 令和4年度から「坂東山地区土地造成事業」を受託し、用地買収業務を坂東市に再委託しているほか、雨水管及び調整池工事等に着手した。（受託元：茨城県企業局）
- ・ 令和5年度から「ひたちなか地区土地造成事業(第1期拡張・第2期拡張)」を受託し、開発に係る調査・設計等を実施するとともに、伐木・造成工事に着手した。（受託元：茨城県企業局）

【代替地処分実績】

- ・ 土浦市内の保有代替地4,592㎡を民間企業に売却した。

【正味財産増減表】

(単位：ha・千円)

	R5決算	R4決算	前年比
団 地 処 分 面 積	16.4	2.7	13.7
経 常 収 益	13,558,660	7,241,314	6,317,346
経 常 費 用	12,596,376	7,066,731	5,529,644
経 常 増 減 額 a	962,285	174,583	787,702
経 常 外 収 益 ※1	6,355	—	6,355
経 常 外 費 用	—	—	—
経 常 外 増 減 額 b	6,355	—	6,355
増 減 額 計 a + b	968,640	174,583	794,057
他 会 計 振 替	—	—	—
当期一般正味財産増減額	968,640	174,583	794,057
一般正味財産期末残高	6,781,207	5,812,567	968,640
指定正味財産期末残高	92,239	94,027	△ 1,787
正 味 財 産 期 末 残 高	6,873,446	5,906,594	966,852

※1 固定資産売却益（代替地処分）

【プロパー事業 団地簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和5年度 増減額 (減損・造成等)	令和5年度 簿価減少分 (原価)	令和5年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和5年度末 簿価残高
茨城	55,687㎡	-	-	23,039千円	-	55,687㎡
	601,873千円	-	27,588千円 ※1	50,628千円	-	574,285千円
稲敷	250,632㎡	-	163,563㎡	825,644千円	△86,897㎡	171㎡
	3,061,519千円	906,036千円	3,884,356千円	4,710,000千円	-	83,199千円
鉾田西部	689㎡	-	-	-	-	689㎡ ※2
	13,035千円	-	-	-	-	13,035千円
緒川	3,013㎡	-	-	-	-	3,013㎡ ※2
	2,139千円	-	-	-	-	2,139千円
砂沼サンビーチ 跡地整備	-	-	-	-	-	- ※3
	2,596千円	247千円	-	-	-	2,843千円
合 計	310,021㎡	-	163,563㎡	848,683千円	△86,897㎡	59,560㎡
	3,681,162千円	906,283千円	3,911,944千円	4,760,628千円	-	675,500千円

※1 茨城工業団地の事業用定期借地契約の売上については、ファイナンスリースとして当期受取賃貸料ではなく土地売却収益に計上している。（簿価残は年度末残高に含まれている。）

※2 仮登記を本登記にできない分について手続き中であり、完了後に県に売却予定。

※3 人件費等の配賦額についてのみ計上しており、既存施設の撤去・造成に必要な調査費用等は法人会計の建設仮勘定に計上している。

2 茨城空港旅客ターミナルビル事業

- ・新型コロナウイルス感染症5類感染症移行後の、人の移動の活発化に伴い、搭乗者数は約75万人（前年対比約15万人増）、搭乗者と見学者を合わせた来場者数は、約136万人（前年対比約19万人増）となった。
- ・国内線については、「スカイマーク」の定期便搭乗率向上や「フジドリームエアラインズ」のチャーター便就航により、搭乗者数が過去最多となった。（国内線搭乗者数約70万人）
- ・国際線については、「タイガーエア台湾」の台北定期便が運航を継続し、チャーター便は70便運航したが、8月4日に運航を再開した「春秋航空」の上海定期便は、福島第一原子力発電所処理水放出の影響等により10月23日以降運休となった。（国際線搭乗者数約5万人）
- ・テナント運営会社が破産し免税店が退去となったが、速やかに公募を行い、2月8日から日本空港ビルデング㈱が新たな免税店の運営を開始した。
- ・長期修繕計画（R3年度～R12年度）に基づき、非常用自家発電機や放送設備などの空港運営に必要な設備機器類の更新を実施した。
- ・国の定める「航空脱炭素推進基本方針」に基づき、円滑な脱炭素化事業の環境整備の実施計画を策定するため、「百里飛行場における太陽光発電設備導入等による脱炭素化に係る実施計画策定業務」を国より受託した。
- ・集客促進を図るため、県や小美玉市、航空会社との共催によりイベントやターミナルビル装飾を行った。
（空の日イベント、台湾インバウンドメロンキャンペーン、タイガーエア台湾就航5周年イベント、開港14周年イベント等、計88件）
- ・茨城県とJRグループが一体となって実施した「茨城デスティネーションキャンペーン」に協力し、効果的な広告掲出に努めた。

【正味財産増減表】

（単位：人・千円）

	R5決算	R4決算	前年比
来場者数	※1 1,360,500	※1 1,173,700	186,800
経常収益	369,576	300,653	68,923
経常費用	388,016	366,796	21,220
経常増減額 a	△ 18,440	△ 66,143	47,703
経常外収益	—	—	—
経常外費用	※2 1,085	※2 1,617	△ 532
経常外増減額 b	△ 1,085	△ 1,617	532
増減額計 a + b	△ 19,525	△ 67,760	48,235
他会計振替	160,109	54,443	105,666
当期一般正味財産増減額	140,585	△ 13,317	153,901
一般正味財産期末残高	29,908	△ 110,677	140,585
指定正味財産期末残高	47,562	55,653	△ 8,091
正味財産期末残高	77,470	△ 55,024	132,494

※1 来場者数＝見学者数＋搭乗者数。

※2 固定資産除却損。

3 園地整備・管理事業

【涸沼園地】

- ・利用者の健康の増進と体力増強に資するため「グラウンド・ゴルフ大会」及び「スポーツウエルネス吹矢大会」を計12回開催した。（グラウンド・ゴルフ大会参加者約680名、吹矢参加者約190名）
- ・自然保護意識の醸成及び青少年の健全な育成を目的に、「涸沼ビオトーププロジェクト（ミニ涸沼自然観察会・水辺の自然観察会）」及び「野鳥観察会」を開催した。（参加者約80組）
- ・設備の不具合により安全な運営が困難なことから、プール営業を中止した。

【伊師浜国民休養地】

- ・スポーツを通じた利用者の心身の健全な発達に寄与するため「ノルディック・ウォーキング体験会」及び「グラウンド・ゴルフ大会」を開催し、健康の増進に寄与した。（参加者約110名）
- ・青少年の健全な育成及び自然環境の保護及び整備のため「ホタル観賞会」、「自然観察会」及び「野鳥観察会」を開催した。（参加者約320名）
- ・地域住民及び施設利用者の交流と地域振興に寄与するため、11月に「鵜の岬秋まつり」を開催した。（参加者 約3,000名）
- ・休養地内の自然環境維持のため、枯松伐採を行った。（伐採26本）

【正味財産増減表】

（単位：人・千円）

	R5決算	R4決算	前年比
グラウンド・ゴルフ人数	※1 12,539	※1 12,292	247
プ ー ル 入 場 者 数	0	21,815	△ 21,815
バ タ ー ゴ ル フ 人 数	1,264	1,352	△ 88
ス ポ ー ツ プ ラ ザ 人 数	4,327	3,057	1,270
多 目 的 広 場 人 数	2,199	3,957	△ 1,758
経 常 収 益	18,210	28,838	△ 10,629
経 常 費 用	127,112	138,802	△ 11,690
経 常 増 減 額 a	△ 108,902	△ 109,964	1,062
経 常 外 収 益	－	－	－
経 常 外 費 用	－	－	－
経 常 外 増 減 額 b	－	－	－
増 減 額 計 a + b	△ 108,902	△ 109,964	1,062
他 会 計 振 替	－	－	－
当期一般正味財産増減額	△ 108,902	△ 109,964	1,062
一般正味財産期末残高	△ 46,412	62,490	△ 108,902
指定正味財産期末残高	2,320	3,144	△ 824
正 味 財 産 期 末 残 高	△ 44,092	65,635	△ 109,726

※1 利用人数については涸沼園地のみ集計。

4 水道事業

【浄水場の運転管理等業務】

- ・ 県企業局所管の10浄水場において運転管理業務及び全ルート of 管路保守点検業務を実施した。
- ・ 新たに空気弁の危険箇所について専門業者に委託し、弁点検を実施した。(10年計画 初年度17箇所)
- ・ 県企業局水質管理センター及び2浄水場にて水質管理・検査業務を実施した。
- ・ 霞ヶ浦浄水場のオゾン促進酸化処理施設の本格稼働(令和6年秋ごろ)に向けて、水質検査及び運転管理技術の計画的な習得に努めた。
- ・ 那珂川浄水場における維持管理委託業務の設計積算・監督業務等を行った。
- ・ 石岡市において、市協力の下、東京水道(株)の漏水発見器(T S リークチェッカー)を使用し、家庭量水器周辺の漏水調査(91軒)を実施した結果、3軒の漏水箇所を特定した。併せて職員の漏水検知技術の習得に努めた。

【水道工事監督補助業務】

- ・ 県企業局管路更新(耐震化)事業における工事監督補助業務及び関係機関調整支援を行った。

【水道普及促進・啓発事業】

- ・ 市町村等が主催するイベントに参加し、水道パネル展示を行うとともに、水質浄化実験、漏水検知体験、水道に関するアンケートを実施した。
- ・ 7月に夏休み親子水道教室を4年ぶりに県中央水道事務所で開催した。
- ・ 水道普及率の低い市町村の小学校(6校)において、小学4年生を対象に水道出前教室を実施した。
- ・ 11月に市町村水道事業担当者の技術力向上を目的とした市町村水道事業担当者研修会を開催した。

【正味財産増減表】

(単位:千円)

	R5決算	R4決算	前年比
経 常 収 益	1, 397, 546	1, 331, 398	66, 148
経 常 費 用	1, 397, 546	1, 331, 398	66, 148
経 常 増 減 額 a	—	—	—
経 常 外 収 益	—	—	—
経 常 外 費 用	0	0	0
経 常 外 増 減 額 b	△ 0	△ 0	△ 0
増 減 額 計 a + b	△ 0	△ 0	△ 0
他 会 計 振 替	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 0	△ 0	△ 0
一般正味財産期末残高	94, 193	94, 193	△ 0
指定正味財産期末残高	30, 000	30, 000	—
正 味 財 産 期 末 残 高	124, 193	124, 193	△ 0

【収益事業】

1 宿泊施設事業

【宿泊施設事業の合計正味財産増減表】

・国民宿舎「鵜の岬」と、いこいの村涸沼の数値を合算している。(単位：人・千円)

	宿泊者数	収益計	費用計	増減額計	他会計振替	正味財産期末残高
R5決算	82,021	1,596,234	1,578,143	18,091	△ 16,552	546,735
R4実績	83,516	1,525,445	1,462,673	62,773	△ 25,007	545,495
増減	△ 1,495	70,789	115,470	△ 44,681	8,455	1,240

(1) 国民宿舎「鵜の岬」事業

- ・宿泊人数58,125人（対前年比1,426人増）宿泊定員利用率は79.8%（対前年比2.0ポイント増）となり、日帰り宴会・会議、昼食及び喫茶利用者数は、84,253人（対前年比9,695人増）となった。
- ・宿泊定員利用率が、34年連続で日本一となった。（国民宿舎協会7月発表）
- ・「いば旅あんしん割」及び「体験王国いばらき割」（全国旅行支援）を活用し、収益の向上を図った。（利用者数20,367名、期間中利用者の71.0%が利用、補助金額58,733千円）
- ・地域の賑わいを創出するため季節ごとにワークショップや体験会を開催（参加者約800名）したほか、公式SNSの配信を継続して行い、集客に努めた。（Instagramフォロワー 約3,200名）
- ・9・10月に日立市観光物産協会主催による茨城デスティネーションキャンペーンに協力し、「徒歩鵜（かちう）漁」等の伝統技術PRに寄与した。（参加者185名）
- ・9月4日、5日の2日間休館し、法定点検を行った。また、2月5日～2月9日の5日間休館し、5階客室の一部改修工事及び法定点検等を行った。

【正味財産増減表】

(単位：日・人・千円)

	R5決算	R4決算	前年比
営業日数 ※1	359	358	1
宿泊定員利用率	79.8%	77.8%	2.0P
宿泊人数	58,125	56,699	1,426
その他利用者数 ※2	84,253	74,558	9,695
経常収益	1,126,561	1,102,268	24,293
経常費用	1,089,589	1,026,074	63,515
経常増減額 a	36,973	76,195	△ 39,222
経常外収益	—	—	—
経常外費用 ※3	1,132	0	1,132
経常外増減額 b	△ 1,132	△ 0	△ 1,132
増減額計 a + b	35,840	76,195	△ 40,354
他会計振替	△ 16,552	△ 25,007	8,455
当期一般正味財産増減額 ※4	19,233	51,133	△ 31,900
一般正味財産期末残高	576,570	557,337	19,233
指定正味財産期末残高	—	—	—
正味財産期末残高	576,570	557,337	19,233

※1 R5休館日合計7日（法定点検等7日）、R4休館合計7日（法定点検等7日）

※2 日帰り宴会、昼食、会議、喫茶利用者の合計。

※3 固定資産除却損。

※4 法人住民税56千円差引き後。

(2) いこいの村潤沼事業

- ・宿泊人数23,896人（対前年比2,921人減）、宿泊定員利用率は56.4%（対前年比9.1ポイント減）となり、日帰り宴会・会議、昼食及びキャンプ場利用者数は、37,903人（対前年比8,022人増加）となった。
- ・「いば旅あんしん割」及び「体験王国いばらき割」（全国旅行支援）を活用し、収益の向上を図った。（利用者数4,275名、期間中利用者の36.2%が利用、補助金額12,251千円）
- ・効率的な運営を図るため、利用者の少ない日に計33日間の計画休館日を設けた。
- ・地域の賑わいを創出するため「ターゲット・バードゴルフ大会」等に協賛し、約440名を集客した。
- ・「茨城デスティネーションキャンペーン」に合わせ、ランチ新メニューの販売を開始した。
- ・市町村等が主催するイベントに出店し、施設のPR活動を行った。
- ・公式SNSの配信を継続して行い、集客に努めた。（Instagramフォロワー 約1,700名）
- ・レストランWi-Fi環境の整備や、脱衣所への扉付きロッカー設置等、利用者の利便性向上を図った。
- ・9月11日～14日、2月6日～8日の計7日間休館し、法定点検等を行った。

【正味財産増減表】

（単位：日・人・千円）

	R5決算	R4決算	前年比
営業日数	※1 326	※1 301	25
宿泊定員利用率	56.4%	65.5%	△ 9.1P
宿泊人数	23,896	26,817	△ 2,921
その他利用者数	※2 37,903	※2 29,881	8,022
経常収益	469,673	423,177	46,496
経常費用	487,167	436,119	51,048
経常増減額 a	△ 17,494	△ 12,942	△ 4,552
経常外収益	－	－	－
経常外費用	※3 255	※3 480	△ 225
経常外増減額 b	△ 255	△ 480	225
増減額計 a + b	△ 17,749	△ 13,422	△ 4,327
他会計振替	－	－	－
当期一般正味財産増減額	※4 △ 17,804	※4 △ 13,478	△ 4,327
一般正味財産期末残高	△ 30,282	△ 12,477	△ 17,804
指定正味財産期末残高	447	635	△ 189
正味財産期末残高	△ 29,835	△ 11,842	△ 17,993

※1 R5休館合計40日（計画33日、法定点検等7日）、R4休館合計64日（計画59日、法定点検等5日）。

※2 日帰り宴会、昼食、会議、キャンプ場利用者の合計。

※3 固定資産除却損。 ※4 法人住民税56千円差引き後。

2 日帰り温泉施設事業(日立市鶴来の湯十王)

- ・営業日数293日（対前年比37日増）、利用者数 130,056人（対前年比 33,451人増）となった。
- ・売上増加を図るため、食事のみの利用者に係る入館料免除及び65歳以上を対象とした平日シルバー割引を継続して行った。
- ・市内イベント等において、優待券（500円）を配布し利用促進を図った。
（入館券＋100円の食事割引券付）
- ・食事のみの利用促進のため、新聞折込やチラシ配布によるPRを行った。（食事のみ利用者1,967名）
- ・日立市コミュニティセンター（23ヵ所）に営業活動を行い、利用促進を図った。
- ・公式SNSの配信を継続して行い、集客に努めた。
（Instagramフォロワー約450名、X(旧Twitter)フォロワー約320名）

【正味財産増減表】

（単位：日・人・千円）

	R5決算	R4決算	前年比
営業日数※1	293	256	37
利用者数	130,056	96,605	33,451
経常収益	232,484	207,904	24,580
経常費用	232,484	207,904	24,581
経常増減額 a	0	0	△ 0
経常外収益	－	－	－
経常外費用	－	－	－
経常外増減額 b	－	－	－
増減額計 a ＋ b	0	0	△ 0
他会計振替	△ 0	△ 0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 0
一般正味財産期末残高	12,880	12,880	0
指定正味財産期末残高	－	－	－
正味財産期末残高	12,880	12,880	0

※1 R5休館合計73日（臨時27日、定期46日）、R4休館合計109日（臨時66日、定期43日）。

3 ビル管理事業

- ・テナント3件の退去及び1件の入居があり、入居率は91.5%となった。
(対前年比1.7ポイント減、空室6室)
- ・会議室稼働率は、31.5%となった。(対前年比4.1ポイント減)
- ・入居希望者のニーズを鑑み、居室分割等に弾力的に対応した。
- ・入居テナント及び会議室利用者の安心安全を確保する施設の維持保全、衛生管理に努めた。
- ・1階2箇所にデジタルサイネージを設置し広告を募集、継続してデジタル広告による収入増を図っている。(広告11件)
- ・クリスマスイルミネーションの増設、正月飾り設置、花壇整備など季節感を創出しビルのにぎわいづくりを図った。
- ・公社ビル北側駐車場の舗装工事、駐車場全体の植栽管理及び2階中庭の整備工事等を実施した。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R5決算	R4決算	前年比
公 社 ビ ル 入 居 率	※1 91.5%	※1 93.2%	△ 1.7P
会 議 室 稼 働 率	※2 31.5%	※2 35.6%	△ 4.1P
経 常 収 益	391,452	408,034	△ 16,583
経 常 費 用	296,356	315,615	△ 19,259
経 常 増 減 額 a	95,096	92,420	2,676
経 常 外 収 益	—	—	—
経 常 外 費 用	※3 2,370	※3 2,727	△ 357
経 常 外 増 減 額 b	△ 2,370	△ 2,727	357
増 減 額 計 a + b	92,726	89,693	3,033
他 会 計 振 替	△ 42,823	△ 29,436	△ 13,387
当期一般正味財産増減額	※4 49,832	※4 60,186	△ 10,353
一般正味財産期末残高	3,901,668	3,851,836	49,832
指定正味財産期末残高	25	38	△ 13
正 味 財 産 期 末 残 高	3,901,694	3,851,874	49,819

※1 公社ビル入居率は面積ベースで年度末数値（全44室中、38室入居中）。

※2 会議室の稼働率は、午前・午後・夜間で算出。（1階大会議室、4階中会議室及び5階小会議室の3室）

※3 固定資産除却損。

※4 法人住民税71千円差引き後。

4 立地促進事業

【工事等実績】

- ・「つくば明野北部工業団地拡張③（田宿地区拡張）」において、6.8ha区画の造成工事が完了し、10月31日に引渡しを行った。
- ・市町村と連携し、積極的に企業誘致活動を行った。

【正味財産増減表】

(単位：ha・千円)

	R5決算	R4決算	前年比
団 地 処 分 面 積	6.8	－	6.8
経 常 収 益	2,174,652	3	2,174,649
経 常 費 用	1,956,529	35,566	1,920,963
経 常 増 減 額 a	218,123	△ 35,563	253,687
経 常 外 収 益	－	－	－
経 常 外 費 用	－	－	－
経 常 外 増 減 額 b	－	－	－
増 減 額 計 a ＋ b	218,123	△ 35,563	253,687
他 会 計 振 替	△ 100,734	－	△ 100,734
当期一般正味財産増減額	117,389	△ 35,563	152,952
一般正味財産期末残高	223,125	105,736	117,389
指定正味財産期末残高	－	－	－
正 味 財 産 期 末 残 高	223,125	105,736	117,389

【収益・立地促進事業簿価】

	前期繰越高 (簿価)	令和5年度 増減額 (減損・造成等)	令和5年度 簿価減少分 (原価)	令和5年度 売却高 上段は売却益	その他要因 による増減	令和5年度末 簿価残高
つくば明野北部 拡張③	70,140㎡ 1,066,271千円	－ 861,123千円	67,956㎡ 1,927,394千円	247,206千円 2,174,600千円	△2,184㎡ －	－ －
合 計	70,140㎡ 1,066,271千円	－ 861,123千円	67,956㎡ 1,927,394千円	247,206千円 2,174,600千円	△2,184㎡ －	－ －

【法人会計】

・管理業務に関する収益・費用や、その他の法人全般に係る、公益目的事業・収益事業に区分できないものを表示する。

【正味財産増減表】

(単位：千円)

	R5決算	R4決算	前年比
経常収益	3,731	1,975	1,756
経常費用	39,875	43,328	△ 3,453
経常増減額 a	△ 36,144	△ 41,353	5,209
経常外収益	－	－	－
経常外費用	－	－	－
経常外増減額 b	－	－	－
増減額計 a＋b	△ 36,144	△ 41,353	5,209
他会計振替	－	－	－
当期一般正味財産増減額	△ 36,144	△ 41,353	5,209
一般正味財産期末残高	△ 223,804	△ 187,660	△ 36,144
指定正味財産期末残高 ※1	1,161	2,322	△ 1,161
正味財産期末残高	△ 222,643	△ 185,338	△ 37,305

※1 ソーラー街路灯設置補助金。

○その他の受託事業の実績

受託事業の実績は下表のとおりである。

(単位：千円)

委託者	受託事業名	事業	受託額	受託内容
稲敷市	稲敷工業団地地区内幹線道路整備工事	土地	164,460	団地地区内の幹線道路整備工事
国	カーボンニュートラル化実施計画策定		23,812	脱炭素化実施計画策定
茨城県	県単独事業	茨城空港駐車場管理	20,602	監視カメラ・放送設備による駐車場の誘導案内及び巡回警備等
		駐車場整理等	5,014	
		茨城空港公園トイレ管理	1,179	空港公園のトイレ管理
		公園事業地管理	14,598	空港公園の管理
		伊師浜国民休養地	9,799	休養地内及び施設設備の維持管理
		水道工事監督補助	45,915	水道工事監督補助業務
		水道啓発	3,301	企業局水道普及啓発業務
		浄水場運転管理	1,347,158	浄水場運転管理業務等
日立市	日立市鶴来の湯十王管理	温泉	232,484	温泉施設の管理運営
合 計			1,868,323	

○資金の借入れ状況

借入金の実績は下表のとおりである。

(単位：千円)

区 分	前年度繰越金	期中借入増減額	令和5年度末残高
土地開発事業 (市中金融機関借入金)	1,200,000	△ 1,200,000	0
茨城空港旅客ターミナルビル事業 (長期・一年内返済茨城県無利子借入金合算)	1,841,831	△ 167,547	1,674,284
立地促進事業 (市中金融機関借入金)	200,000	△ 200,000	0
合 計	3,241,831	△ 1,567,547	1,674,284